

平成25年度日本NGO連携無償資金協力署名式典

9月6日（金）、平成25年度日本NGO連携無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、隈丸優次特命全権大使と特定非営利活動法人日本地雷処理を支援する会の高倉文敏カンボジア現地統括代表が、「2013年度バタンバン州における地雷処理促進事業」（供与限度額：791,720米ドル）案件の贈与契約書に署名を行ないました。



本案件では、カンボジア国のバタンバン州において実施されるカンボジア地雷対策センター（CMAC）に対する技術移転、地雷処理活動等にかかる費用が支援されます。本事業実施により、同州ラタナックモンドル郡トラエンコミュンとレックスミーサンハーコミュンの住民約6,700人が地雷・不発弾の危険から解放された安全な土地で生活することが可能になります。また、昨年度案件から、国連基準に基づくランドリリース方式といった新しい地雷除去手法を採用することにより除去スピードを迅速化することができ、オタワ条約履行期限の2019年までに対人地雷の脅威を除去し、対戦車地雷等のリスクを最小化するというカンボジア政府の計画に寄与することが期待されています。

式典では隈丸大使がスピーチを行ない、過酷な環境の中、カンボジアの地雷処理事業に従事する方々に対し敬意を示すとともに、今回の支援がカンボジアの草の根レベルの人々に直接裨益し、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願うと述べました。続いて、高倉現地統括代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、今後もカンボジアの人々と協力して、地雷除去活動及びCMACに対する技術移転に努めることが約束されました。スピーチの後、隈丸大使と関係者全員による記念撮影が行なわれ、式典は和やかな雰囲気の下に終わりました。

